

(1) NO. 19 平成15年 5月号 こもれび



総合建設・一級建築士事務所
 株式会社 日向建設 ひゅうがけいせつ
 〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
 http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか
 TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303



四階建てRC造り
 玉縄のマンションが完成しました！！

鎌倉市玉縄 2003年4月完成

今日は、完成したばかりの鎌倉市玉縄の新築マンションをご紹介します。



全面タイル張りの外観がとても素敵な新築マンション。設備やセキュリティも充実。ドアの色もおしゃれです。

鉄筋コンクリート(RC)造り四階建てのこのビルを建築するのに、住宅を建てるのはかなり違う所があります。

「まず基礎です。大きな建物になると、住宅のような基礎ではもたないで、岩盤まで杭を打ち込みます。この現場はとくに地盤が悪いので、直径1.4m、長さ18mの円筒状のコンクリート(これを杭といいます)を12本岩盤に固定しました。そして、土台も柱も壁も床も天井もすべてコンクリートで作られています。そのコンクリートの中には、太い鉄筋が網の目状に入っているのです。」

「今回のように住宅地にビルを建築する場合、先ず廻りの人達がビックリしてしまいますね。四階建てということだけで、圧迫感を感じ、工事が始まる

と特殊な機械や車両・道具を見て『何が始まるのだろう?』と驚いてしまうのです。又、大船は地盤が弱いので、大きな車両が動くだけでかなり揺れます。そして、基礎をつくる為に土も大量に運び出し、10tダンプで約120台にもなりました。」

「出来上がってしまえばわかりませんが、見えない所で大変な工事をして、アッパアッパッ」

また鎌倉市は、市の開発指導要綱に基づいて、一定規模以上の建物を建てる時には、いろいろな規制があります。

「ここに四階建ての建物を造るには、一定割合の駐車場をつくらなくてはなりません。そこで、一階はすべて駐車場スペースになってしまったのです。部屋数を減らさないように建ぺい率、容積率を満たそうとした為、四階建ての建物になりました。」

「でも、四階建てでも圧迫感は少ないですね。外観の雰囲気も良く、とてもシックなマンションに見えます。」

「そうですね、外壁のタイルが、落ち着いた色だからでしょうね。外壁の色だけで、ずいぶん印象が変わったと思いますよ。」

「なるほど。建物(家)にとって、外壁の色というのは大事なポイントですね！」

「この建物は、全面タイル張りになっているんです。何枚位タイルを使ったと思いますか? 15万枚だそうですね。」

「やはり大きな建物なんですね。」



最新のセキュリティ。カードキーシステムが採用されています。



来客は、各部屋のTVモニターで確認できるので、安心です。

「ここは、ワンルームマンションだと伺いましたが、セキュリティなどはどうなっているのですか?」

「この建物では、各部屋のセキュリティはカードキーシステムを採用しています。また、来客時には、モニター付きのインターホンで訪問者の確認が部屋でできるようになっています。」

「一人暮らしだと、訪問販売やいろいろな勧誘などで困ることもあるので、セキュリティがしっかりしているのは安心ですね」

「洗面台、ウォッシュレット付きトイレ、お風呂は、それぞれ独立型になっています。部屋のフローリングも、とっても良い素材が使用されているんですよ。また、かなり収納力もあるお部屋のつくりになっています。玄関には靴箱があり、ウォーキングクローゼットもついています。」

「収納が沢山できるかどうかは、お部屋選びの際に重視する方も多いため、そのようなニーズに応えた部屋づくりになっているのですね。」

「建築面で言えば、ここは地盤が悪く、基礎の段階からかなり苦労がありました…。住まれる方々が快適に生活して頂ければ、言うことはありません」



室内の様子。木材がたくさん使われているので、落ち着いた雰囲気に仕上がっています。



(2) こもれび

～『草木染め』の美しい色合い～
 木の風合いを活かしたまま美しく塗装する自然塗料

みなさんは『草木染め』が住宅建築にも使用できることをご存知でしたか? まず材木に、草木の塗料を塗ります。その後、色を安定させるため、水に溶かした「触媒剤」を塗り、固着・発色させます。安全な触媒剤としてよく利用されるのは、「鉄」や、料理でも使用される「明礬(みょうばん)」です。

① 渋木+みょうばん(山吹色) / 渋木+鉄(茶緑色)
 「渋木(しぶき)」はやまもも科の植物です。触媒剤によって、黄茶色系、金茶色、オリーブ色系が出ます。

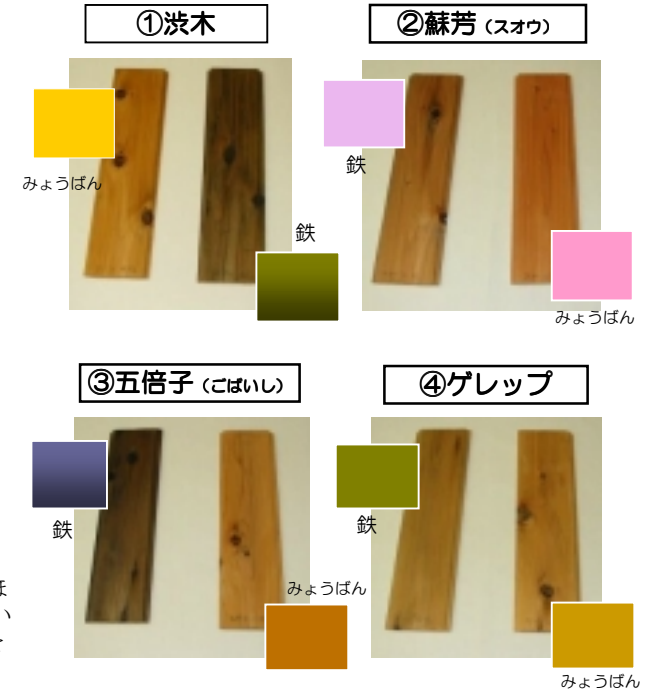
② 蘇芳+鉄(薄紫のような色) / 蘇芳+みょうばん(ピンク色)
 「蘇芳(スオウ)」は深みのある赤紫色の染料です。古くから十二単の色などの高貴な色として知られる染料です。

③ 五倍子(ごばいし)+鉄(藤色) / 五倍子+みょうばん(薄灰色)
 五倍子(ごばいし)は、ヌルデの葉などにアブラムシが寄生してできる「虫こぶ」からつくる塗料です。

④ グレップ+鉄(薄オリーブ黒色) / グレップ+みょうばん(薄茶色)
 「グレップ」は別名オールドフスチックともいいます。樹木から取れる、黄色の色素を利用します。

自然塗料は、安心して使用できる点もさることながら、色の種類が思いのほか多くあります。また仕上げ塗料としても、木の呼吸を妨げず、木目の風合いを活かした美しい仕上がりになります。日向建設では、『草木染め』の技術を建築の中に上手に取り入れ、活用しています。

■触媒による、色の変化を見てみましょう
 下塗りに①～④の塗料を使い、触媒剤にそれぞれ「みょうばん」と「鉄」を使用した時の色の違いを比べたものです。
 (全て同じ色の木を使用)



鎌倉マイホーム学院



4/19(土) 第四期生修了式が行われました!

「今回も、家のことを真剣に考えていらっしゃる生徒さんばかりでした。」講師陣も太鼓判を推す第四期生の皆さん。鎌倉マイホーム学院、全7回の講座を修了されました。学院で学んだ内容が、皆さんの理想のマイホームづくりにお役に立てば嬉しいです。



鏡の魔法?

『鏡で運勢を上昇させる風水コラム』



風水学では、「鏡は神棚と同じく、東向きか南向きにするとよい。」とか、「新居には一番最初に鏡を入れるとよい。」などと言われているそうです。

実際に、鏡を置いてみましょう。自然の光の中で、鏡に映った自分の姿が一番よく見える位置に置くと、明るく綺麗に映ることでしょう。気持ちも軽くなり、気分もよくなります。きっと、今日もがんばろうと意欲が出てくるでしょう。

置く場所ひとつで、気持ちも変えられる、まさにそれこそ、鏡の魔法かもしれません。

不動産のお話

家を購入する時に、考えなければならない大事なポイントは、最寄駅からの距離だと思えます。“駅から歩けるか? バスを利用するか?”によって同じ予算でも、物件の内容がかなり違ってきます。時間にすると、大人の足で15分が境目となるでしょう。

徒歩15分圏内で物件を探すとすると、通勤・通学を優先させる訳ですから、広さ・日照・騒音などの要素が希望にかなわない場合が多くなります。始めからその要素を外して探せば、案外いい物件にめぐり会えるかもしれません。最寄駅より徒歩15分以上又は、バス利用可となれば、広さ・日照など希望通りの物件がかなりあると思います。生活圏(学校・病院・スーパーなど)も5～10分位の範囲で確保出来て、環境的にも恵まれる場所が多いでしょう。

具体的な場所をあげると鎌倉では、大町・材木座・長谷・深沢・植木・岩瀬などが当てはまるでしょう。前記の場所で、最寄駅から15分～20分位で探すと希望にかなう物件がきっとあると思います。

どうしても徒歩15分以内の物件がほしい場合は、資金をたくさん集めるように頑張りましょう。

編集後記

今月の特集でご紹介した玉縄のマンション工事が4月末で終わり、ホッとしました。

この現場は閑静な住宅地の中にあり、騒音・振動など特に気を使いました。また、工期が5ヶ月あまりという短い期間だった為、工事に携わった業者の皆様にもご協力頂き感謝しています。

四階建てのビルですが、落ち着いた建物に仕上がりに、周りとはあまり違和感が無いように見えます。

建築の仕事は、芸術作品を創るのと同じような気がします。沢山の皆様の力と協力の上に、成り立っているんだと改めて実感させられました。